

2021 年度  
しあわせキャリア支援センター  
活動報告書

# 目 次

|  |    |
|--|----|
| ご挨拶  | 1  |
| 学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター体制図                              | 2  |
| I. 育児支援  | 3  |
| II. 研究支援   | 3  |
| III. キャリア教育支援  | 4  |
| IV. 定例会議   | 4  |
| V. ベビーシッター派遣事業割引券の発行                                     | 4  |
| VI. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ<br>(牽引型)に係る取組 | 5  |
| (1)ダイバーシティ研究環境整備のための取組                                   | 5  |
| (2)女性研究者の研究力向上のための取組とそれに通じたリーダー育成のための取組                  | 8  |
| (3)女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組                                | 9  |
| 資料(1)マネジメント力養成講座   | 11 |
| 資料(2)介護と仕事の両立支援セミナー                                      | 13 |
| 資料(3)イクボスセミナー&イクボス宣言                                     | 14 |
| 2021年度 学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター構成員                       | 16 |

## ご挨拶



学校法人日本医科大学  
しあわせキャリア支援センター  
センター長 土佐 眞美子

2021年度は、これまでの法人の取り組みの成果が開花した充実の1年でありました。

まず、採択から3年目を迎えた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」では中間評価が実施されました。目標の達成度が厳しく問われる中、取組の成果、実施体制などすべての項目で高い評価を得て、当初の数値目標を上回り、総合評価ではAをいただきました。さらに、日本医科大学は令和3年度東京都女性活躍推進大賞の優秀賞を受賞しました。これは女性の活躍推進に取り組む団体などに贈呈されるものです。女性上位職登用推進や家庭と仕事の両立支援制度などが評価され受賞となりました。

しあわせキャリア支援センターが、法人や大学と協力してこれらの成果に貢献できたことは大変喜ばしいことです。

今年度は、これまで実施してきた保育補助や研究支援員配置制度、研究費補助、短時間勤務女性医師任用制度利用者のサポート、留学支援などの継続と充実を図りました。また、研究力向上、仕事と介護の両立セミナーなどを開催し、様々な状況でも能力を発揮できる環境作りに取り組みました。また、新たな取り組みとして管理職の意識改革を目的に、職位別のマネジメント力養講座とイクボスセミナーを開催しました。これらは組織とチーム、自身の目標を一体的に考えアクションを起こすきっかけとなり、来年度も継続する取り組みです。

運営資金の確保に向けて2つの活動を実施しました。一つはクラウドファンディングへの挑戦です。「出産や子育てでキャリアを諦めない。女性研究者へ、研究継続の支援を！」は、多く方の共感を得て目標を超えるご支援を頂くとともに、取り組みを広く社会に周知することに繋がりました。寄せられたご支援は2022年度の研究支援員配置制度に活用いたします。もう一つは法人に「ダイバーシティ推進支援募金」が開設されたことです。こちらで頂くご支援には、医療を通して地域や社会に貢献する人材の育成に活用する予定です。

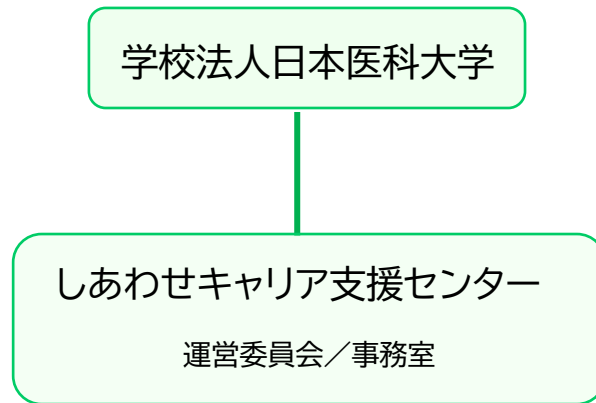
さらにこれらの取り組みを広く周知する情報発信を積極的に行いました。ホームページや学内向けのメール配信の充実を図るとともに、日本医科大学同窓会報では3回シリーズでしあわせキャリア支援センターの紹介とOBのメッセージを紹介する企画を開始しました。

育児や介護などのライフイベントを大切にしながら、その時にできる、その人にとってしあわせな働き方を皆様が見つけていくためのお手伝いができるように、スタッフ一同引き続き努力をして参ります。今後ともご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2021年度も、多くの皆様のご支援、ご協力によって充実した活動を展開できましたこと、心より、感謝申し上げます。

2022年3月

# 学校法人日本医科大学 しあわせキャリア支援センター体制図



## ～2021 年度活動報告～

### I 育児支援

#### ●マザーネット



#### 2021 度マザーネット月別利用状況】

(登録者数 35名)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 1  | 3  | 8  | 10 | 3  | 8  | 1   | 3   | 2   | 3  | 0  | 0  | 42 |

(単位:人)※延べ人数

<利用料金補助総額 682,000 円> ※昨年度 1,098,223 円/91 人

### II 研究支援

#### ●研究支援員配置者数

基礎医学 1名

#### 1)支援を受けた時間数

2021 年 4 月 1 日(木)～2021 年 8 月 31 日(火)まで、合計 61 時間 45 分

#### 2)当制度を利用したことによる効果等

研究支援員の配置により、育児休業中においてもラボ内の研究進行が円滑に進んだ。

研究支援員に対しては、医学部の講義・実習では学ぶことのできない実験・研究技術を広く取得し、かつ科学的思考を実践したと認められる。研究に対する意欲が高く、研究支援員として学んだ知識は、博士課程等で行う研究活動の基礎となると考えられる。

#### 3)研究支援員の声

学部 2 年次の実習の知識は生かすことが出来たものの、不慣れな手技や新たな発見等は毎日あり、日々勉強になった。

特に、実験を通して、物事を深く考える習慣や自由に質問できる姿勢がこの約 1 年の間に身についたように思う。

ラボの研究者やテクニシャンの方々と関わる機会も存分にあり、将来のキャリアの過程における研究の道について色々考えることが出来た。

### Ⅲ キャリア教育支援

2021年11月2日(火)に第1学年を対象に、特別プログラムとして「Diversity and Inclusion(多様性と包摂性)医師としての生き方を考える」を実施した。

### Ⅳ 定例会議

当支援センターの円滑な運営を図るために、原則として隔月で委員会を開催している。今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策として、全てWEB開催とした。

#### 第1回 2021年4月21日(水) オンライン開催

- ・しあわせキャリア支援センター運営委員会新メンバーについて
- ・令和3年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業計画について
- ・令和3年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)補助事業の担当者について
- ・各施設(病院)からの近況報告

#### 第2回 2021年9月15日(水) オンライン開催

- ・2021年度後期ダイバーシティ補助事業イベント等スケジュールについて
- ・クラウドファンディング及び募金の実施について
- ・ダイバーシティ補助事業の協力機関について
- ・2022年度共同研究及び新型研究支援員配置制度利用希望者の公募について

#### 第3回 2021年11月24日(水) オンライン開催

- ・令和4年度ダイバーシティ補助事業 事業計画について
- ・令和3年度ダイバーシティ補助事業セミナー等 今後の開催予定について
- ・2022年度新型研究支援員配置制度利用希望者《追加》募集について
- ・クラウドファンディング及び募金の寄付の状況について

#### 第4回 2022年3月30日(水) オンライン開催

- ・令和4年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)補助事業の担当者(案)について
- ・令和4年度女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクトの実施について
- ・人事異動について

### Ⅴ ベビーシッター派遣事業割引券の発行

教職員の育児と就労の両立支援を目的に、2021年5月7日より「ベビーシッター派遣事業割引券」の発行を開始した。

利用対象はこれまでの女性医師・研究者に限らず、本法人に勤務する教職員で、日本

私立学校振興・共済事業団加入しており、対象児童と利用条件を満たせば、全職種、男女問わず、パートタイマーも利用可能とした。

本制度は、内閣府の委託を受けた公益社団法人全国保育サービス協会が行っている「ベビーシッター派遣事業」を利用して実施するもので、この割引券を使用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から対象児童1人につき最大4,400円(1枚2,200円×2枚使用可)の割引が受けられる。

今年度の利用者数は7名で、割引券発行枚数は233枚、使用枚数は114枚であった。

## VI 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業に係る取り組み

### (1) ダイバーシティ研究環境整備のための取組

#### 1-1 病児・病後児及び休日勤務時等における保育支援制度の継続〔日医・日獣〕

業務上やむを得ない理由により夜間・早朝保育、休日保育、病児・病後児保育を利用する際に、その利用料金の一部を補助することにより、研究活動と育児との両立を支援した。

今年度の登録者数と利用者数は、以下の通り。

日本医科大学:登録者5名、利用者2名

日本獣医生命科学大学:登録者0名、利用者0名

#### 1-2 時間短縮勤務制度(時短・ハーフ助教制度)利用者のキャリア継続支援及びメンター制度の実施〔日医〕

当該制度利用開始時に面談を実施し、所属機関のメンターを紹介すると共に、制度利用に関する説明と諸注意を行った。

今年度の面談実施数は8名であった。

#### 1-3 新型研究支援員配置制度の継続〔日医・日獣〕

ライフイベントにある女性研究者(男性研究者も対象)に対し、一週間当たり最大20時間の支援を受けられる当該制度により、研究活動の維持・促進を図った。

今年度、日本医科大学では10名の研究者に対し研究支援員を配置したが、2021年6月までに3名の研究者が退職したため、その分の支援時間(予算)を他の研究者に再配分する等して対応した。今年度の研究支援員配置者数は、以下の通り。

日本医科大学:10名(うち男性1名)※2021年7月 8名(うち男性1名)

2021年8月 7名(うち男性1名)

2021年10月 6名(うち男性1名)

日本獣医生命科学大学:5名(うち男性2名)

1-4 連携機関における共同研究に対する研究費補助の継続〔日医・日獣〕

女性研究者を研究代表者とする共同研究の公募を行い、1件につき100万円の研究費補助を行うもので、今年度の採択状況は以下の通りであった。

日本医科大学:応募5件、採択3件

日本獣医生命科学大学:応募4件、採択4件

1-5 研究人材育成セミナーの開催〔日医・日獣・アンファー〕

キャリア形成の課題の中でも、研究費獲得については多くの研究者が関心を持っている。

今年度の研究人材育成セミナーは、2021年5月20日(木)に、大型の研究費を得て活躍している臨床と基礎の研究者をお招きし、研究費獲得を中心に研究費にまつわる講演をいただいた。参加者は60名であった。

1-6 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクトの継続〔日医・日獣・アンファー〕

今年度は、前回のアンケートの結果を踏まえ、科研費の申請が終了してから研究できるようなスケジュールを立案した。

参加者は36名(教授推薦を含む)で、10月4日(月)にオリエンテーションを実施し、10月18日(月)～11月19日(金)までを研究期間とし、12月18日(土)に日本獣医生命科学大学において研究発表会を開催した。研究発表会への参加者は51名であった。

1-7 ダイバーシティ意識醸成のためのセミナー、講演会等の開催〔日医・日獣・アンファー〕

2021年5月26日(水)から全3回の「マネジメント力養成講座」(資料1)、11月24日(水)から全3回の「介護と仕事の両立支援セミナー」(資料2)、12月14日(火)に管理職向けの「イクボスセミナー&イクボス宣言」(資料3)を開催し、ダイバーシティに対する意識の醸成を図った。

【マネジメント力養成講座】 講師:塚原月子氏(株式会社カレイディスト代表取締役)  
〔開催日〕

第1回目:2021年5月26日(水)対象:若手研究者(講師までの医師・研究者)

第2回目:2021年6月17日(木)対象:管理職(准教授以上の医師・研究者)

第3回目:2021年7月29日(木)対象:全教職員

〔参加者数〕

第1回目:42名

第2回目:62名

第3回目:53名



【介護と仕事の両立支援セミナー】

〔開催日〕

第1回目:2021年11月24日(水)『介護と仕事の両立って?』

第2回目:2021年11月29日(月)『知っておきたい社会資源』

第3回目:2021年12月6日(月)『今からできること』

〔参加者数〕

第1回目:69名

第2回目:62名

第3回目:57名

【イクボスセミナー&イクボス宣言】

〔開催日〕 2021年12月14日(火)

〔参加者数〕 会場参加 57名 , WEB参加 132名

1-8 地域との連携強化、次世代研究者育成〔日獣〕

地域社会生涯学習委員会と連携開催する予定であった武蔵野市、市民対象のダイバーシティに関する講演会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催することが出来なかった。

1-9 女子学生向けキャリアパス支援の取組〔日獣〕

女子学生向けキャリアパス支援として、女性研究者がキャリアパスを描くためのライフイベント支援をテーマに、リーダーシップ&マネジメント力養成講座を12月17日(金)に開始し、大学院生の参加を募った。

1-10 他機関のシンポジウム、セミナー等への参加〔日医・日獣〕

全国ダイバーシティネットワークが主催する講演会や他機関のシンポジウム等に参加し、取り組みの参考とした。

1-11 本事業における取組みの紹介(情報発信)の継続〔日医・日獣・アンファー〕

本事業における取組みをOne Healthウェブサイトへ掲載すると共に、ニュースレターを年に2回発行し、学内外に情報を発信した。

第4号 2021年7月19日発行、第5号 2022年1月19日発行

1-12 ダイバーシティ推進のために必要なアンケート調査の実施〔日医・日獣〕

2021年6月28日(月)に、本学教員および研究者の研究環境の現状を把握・分析することで、今後の支援策(出産・育児・介護などのライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備など)の策定に役立てること、2019年に実施した調査と比較し、本事業の成果を評価することを目的とした「学校法人日本医科大

学におけるワーク・ライフ・バランス等に関する調査」を実施した。

〔調査期間〕 2021年6月28日(月)～7月18日(日)

〔対象者数〕 日本医科大学、日本獣医生命科学大学に所属する教職員・研究者 1,137名

〔有効回答数〕 421件(37.0%)

## (2)女性研究者の研究力向上のための取り組みとそれに通じたリーダー育成のための取組

### 2-1 研究力向上に向けた「留学支援」の促進〔日医〕

- ①留学経験者が留学希望者をサポートする「留学アドバイザー制度」を導入した。  
留学に関わる疑問や不安を、経験者に気軽に相談できるような体制を整備した。
- ②留学先の育児・保育環境および留学奨学金(助成金)に関わる情報提供を継続した。
- ③留学経験のある女性研究者と交流できる会として、2022年1月24日(月)ウェブ座談会「留学のことを聞いてみよう！」を開催した。参加者は39名であった。

### 2-2 外部研究費獲得に向けた支援〔日医・日獣〕

研究人材育成セミナーとして、2021年5月20日(木)に「研究費獲得セミナー AMED編」を開催した。7月15日(木)には、「AMED創薬ブースター&DISC合同説明会」を開催した。

さらに、研究推進課と連携し、意欲ある優れた研究能力を有する女性研究者6名に対し、科研費申請書添削の支援(日医)、学内の研究費獲得経験豊富な者や学外審査経験のある教員による個別の学術的助言を行った。(日獣)

### 2-3 女性研究者の研究力強化に向けた支援〔日医・日獣〕

女性研究者を対象に、英文校閲費用の助成や論文投稿に対する費用の補助等を行った。

今年度の利用者数は以下の通り。

日本医科大学:14名

日本獣医生命科学大学:2名

また、研究者としてのキャリア形成に欠かせない効果的な研究成果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを高めるため、2021年7月13日(火)及び8月3日(火)に実施した。

### 2-4 産学横断型キャリア相談窓口及び産学横断型メンター制度の継続〔日医・日獣・アンファー〕

産学横断型キャリア相談窓口:研究者のワーク・ライフ・バランスと研究に関する悩みや問題を相談し、一人ひとりの状況やニーズに応じたキャリア設計が可能となるように設置されたもので、「みんなで支えるしあわせキャリア相談窓口」として本格的に運

用を開始した。今年度の利用者数は9名であった。

産学横断型メンター制度：日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社に所属する先輩研究者が、若手研究者を側面から支援することによって育成を図り、女性研究者のキャリア継続、研究力の向上、上位職への登用に資することを目的に設置され、研究者が仕事を続ける上で感じる不安や、将来についての考え方などを相談できる制度「つなぎ、支え、前進する — One Health メンター制度 —」として本格的に運用を開始した。今年度の利用者数は8名であった。

### (3)女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組

#### 3-1 准教授(教育担当)の登用〔日医〕

学長のリーダーシップの下、従来ある講師(教育担当)に加え、新たに准教授(教育担当)を設け、教育に優れた資質や経験を有している女性上位職の増員を行った。今年度の登用者は3名であった。

#### 3-2 管理職に対するセミナーの開催〔日医・日獣・アンファー株式会社〕

2021年11月24日(水)から全3回の「介護と仕事の両立支援セミナー」、12月14日(火)に「イクボスセミナー&イクボス宣言」を実施し、管理職への意識改革を図った。また、12月17日(金)には東京農工大学教授・学長補佐・女性未来育成機構長 天竺桂(たぶのき)弘子氏を迎え、女性研究者採用・上位職登用率を上げるための取り組みについて講演いただいた。

#### 3-3 学長による学内重要会議でのプレゼンテーション〔日医〕

学長は教授会等の学内重要会議においてプレゼンテーションを行い、多様な人材の協働(女性教授数の問題解決、女性上位職登用比率の是正等)に関する啓発を実施した。

#### 3-4 学長と分野責任者による戦略会議〔日医〕

学長は、女性上位職候補者在籍の分野責任者と、上位職登用に向けた戦略の打ち合わせを計20回実施した。

#### 3-5 女性上位職候補者のコンサルティング機会の企画〔日医〕

学長による女性上位職候補者に対するコンサルティングを3名に実施した。

### 3-6 人事基準の検討〔日獣〕

女性教員採用率向上に向け、5年後に女性教員比率を27%にすることを目標に設定した。

### 3-7 グローバル人材の育成〔日獣〕

前年度に引き続き研究推進委員会の協力のもと、グローバルに活躍できる研究者育成のためのネイティブ英語講師による英語プレゼンテーション講座を開設した。

## 【マネジメント力養成講座】

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

## マネジメント力養成講座

考えて 踏み出そう！

自分のキャリア  
共感できる組織のビジョン

オンライン開催！

講師

塚原 月子氏

Tsukiko Tsukahara

株式会社カレイディスト 代表取締役  
全国ダイバーシティネットワーク コーディネーター

本学では、今の働き方ではキャリア継続が困難だと感じる割合が女性において特に多い、男女ともに研究時間を確保する必要性を感じるなどの具体的な課題が見えてきています。これらの課題に対して制度の整備を行うことはもちろん、個々の研究者が自らのキャリア形成を具体的に描き、また組織や管理職層はその実現に向けて具体的なサポートをすることも求められています。本講座では、研究者個人及び管理職のそれぞれの視点から、研究者個人と組織双方にとってwin-winとなり得るようなありたい姿を実現する上で必要なリーダーシップやコミュニケーションについて双方向性の高い議論を通じて養成することを目的とします。

対象

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー(株)に所属する教職員  
第1回と第2回は対象者が異なります。第3回はどなたも参加できます。

第1回

## 見えていますか？ 自分のキャリアとミッション

対象：若手研究者（講師までの医師・研究者）

2021年5月26日（水） 18:00～20:00

第2回

## 組織と個人のあり方

～ Win-Winになるビジョン、それをWILLでつなげるために～

対象：管理職（准教授以上の医師・研究者）

2021年6月17日（木） 18:00～20:00

第3回

## 組織のビジョンと個人をつなげる

インクルーシブリーダーシップ

対象：全教職員

2021年7月29日（木） 18:00～20:00

お申込み しあわせキャリア支援センター  
お問合せ app-shien@nms.ac.jp 03-3822-2131 内線 5500,5501



主催 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社

## 講座概要

考えて 踏み出そう！

# 自分のキャリア 共感できる組織のビジョン

講師

塚原 月子氏

Tsukiko Tsukahara



株式会社カレイディスト 代表取締役  
全国ダイバーシティネットワーク コーディネーター

運輸省（現国土交通省）、ポストン・コンサルティング・グループ、カタリスト・ジャパンを経て、2018年に株式会社カレイディストを設立。

ダイバーシティとインクルージョンの重要性、インクルーシブ・リーダーシップ、女性のキャリア推進、働き方改革、チェンジマネジメントなどのトピックを主に取り扱うコンサルティング・アドバイザーサービス、講演・ファシリテーションサービス、研修・ワークショップサービス等の提供を行う。2019年G20大阪サミットで立ち上げられたEMPOWERの日本代表の一人。職場のインクルージョンを通じて女性のキャリア推進をグローバルに支援する企業会員制の非営利機関カタリストの日本における諸活動のアドバイザーも務める。

ダートマス大学タック経営大学院修士（MBA）、東京大学経済学部卒業。

自身も、3児をもつ母親として、育児と仕事の両立しながら柔軟な働き方を模索中。

第1回

見えていますか？

自分のキャリアとミッション

対象：若手研究者（講師までの医師・研究者）

2021年5月26日（水） 18:00～20:00

アンケート結果から見えてきた課題を掘り下げて、真に解決を図るべき問題は何か議論します

5年後、10年後の自分のキャリアを展望し、そこから逆算したときに見えてくる乗り越えるべき壁に気づきを持ちます

個人としてありたい姿を実現するために組織にどうあってほしいか、そのために自分も組織に対して貢献できることは何かを考えます

第2回

組織と個人のあり方

～ Win-Winになるビジョン、それをWILLでつなげるために～

対象：管理職（准教授以上の医師・研究者）

2021年6月17日（木） 18:00～20:00

アンケート結果及び第1回セッションでの議論内容を踏まえ、組織として、管理職として対応すべき課題の全体像に向き合います

多様性を包含する多くの研究者個人と組織がWin-Winとなるような姿について、イメージを出し合います

管理職として自分がどんなアクションを取れそうか考えます

第3回

組織のビジョンと個人を

つなげる インクルーシブ  
リーダーシップ

対象：全教職員

2021年7月29日（木） 18:00～20:00

医療研究分野におけるジェンダーダイバーシティの今日的意義について、世界の潮流も踏まえて学びます

第1回、第2回を通じて出てきた個人と組織のありたい姿の実現を全体で共有します

ありたい姿を実現に向けて、自立した個による多様性を活かす組織の運営とは、

そのような組織を共創するために、一人ひとりが取り組めることを見つけ、自分自身のアクションプランとします

各回とも、オンラインでのリアルタイムサーベイツールなどを用いた  
双方向性の高いセッションを実施します



## 【介護と仕事の両立支援セミナー】



多くの教職員が「介護」に直面する可能性が高まっています。  
今の生活の延長に、介護が加わることをイメージしてみたことがありますか。  
介護に直面する前の事前準備として、仕事と介護を両立して、安心して仕事を続けられる方法をご一緒に考えてみませんか。  
ランチタイムに開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください。

### 第 1 回 11/24 (水) 介護と仕事の両立って？

講師：石渡 明子 日本医科大学 脳神経内科 / しあわせキャリア支援センター  
並木 香奈子 しあわせキャリア支援センター

### 第 2 回 11/29 (月) 知っておきたい社会資源

講師：柴田 将宏  
日本医科大学 付属病院 患者支援センター 療養支援部門

### 第 3 回 12/ 6 (月) 今からできること

講師：根本 留美  
日本医科大学 武蔵小杉病院 街ぐるみ認知症相談センター

12:15-12:45 オンライン開催 (Webex)

学内に限り後日アカーブ配信をいたします

#### 参加対象

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社および  
全国ダイバーシティネットワーク東京ブロック参画機関に所属する教職員・学生

#### お申込

各回とも前日までお申込みを受け付けます 参加は無料 申込フォーム▶



主 催 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社  
お問合せ しあわせキャリア支援センター 03-3822-2131 (代) ext:5504、5502  
お申込み app-shien@nms.ac.jp https://one-health.jp/

## 【イクボスセミナー&イクボス宣言】

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

# イクボスセミナー &イクボス宣言

2021年

12月14日(火) 17:30-19:00

日本医科大学武蔵小杉病院 第一会議室  
+ オンライン(Webex)開催



時代に合わせた働き方を断行する上司(=イクボス)の存在で、職員の満足度・健康度・仕事能力・貢献度が向上します。多様性のある集団で新しいモノや考え方を生み出していきましょう！  
管理職の方はもちろん、そうでない方も皆様のご参加をお待ちしています。

### 第1部 イクボスセミナー

## 誰もが活躍できる職場 活躍させる上司 ～仕事と私生活の両立環境は、経営戦略～

**川島 高之 氏** NPO 法人  
ファザーリングジャパン 理事  
Takayuki Kawashima



1987年に慶応大学卒、三井物産に入社。上場会社の社長時代、働き方改革により3年間で利益8割増、株価2倍に。ファザーリング・ジャパン理事、内閣府や文科省の委員を歴任。家事や育児(Life)、会社社長や商社勤務(Work)、PTAやNPO(Social)の3つの経験を融合した講演が年200回以上。元祖イクボスとしてNHK「クローズアップ現代」で特集され、アエラ「日本を突破する100人」に選出。著書「いつまでも会社があると思うなよ」、「職場のムダ取り教科書」。

### 第2部 連携機関トップによる

## イクボス宣言!

坂本 篤裕 学校法人日本医科大学 理事長  
弦間 昭彦 日本医科大学 学長  
清水 一政 日本獣医生命科学大学 学長  
波間 隆則 アンファー株式会社 主任研究員

申込フォーム



参加対象 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、  
アンファー株式会社に所属する全ての教職員

申込 会場定員 35名  
締切 12月13日

主催 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社  
お問合せ しあわせキャリア支援センター 03-3822-2131 (代) ext:5504、5502  
お申込み app-shien@nms.ac.jp <https://one-health.jp/>



## イクボスセミナー

「誰もが活躍できる職場 活躍させる上司 ～仕事と私生活の両立環境は、経営戦略～」

### 講演要旨

いまは共働きが大半で男性の育休も珍しくありません。また、地域活動や社会貢献、勉強や趣味、親の介護や子の看護などにより、働く時間と場所に制約のある職員が急増しています。多くの医療機関や大学が、制度改革やDX化などで働き方改革を進めてきました。しかし、職員の意欲減退、離職者の増加、採用難などが改善されず、競争力低下に歯止めがかからない組織も少なくありません。改善されない最大要因が、経営者や上司の固定化した価値観・仕事のやり方・男女の役割意識でしょう。それらが、働き方改革を「形だけ」にしてしまい、仕事と私生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）の妨げになっています。だから、時代に合わせた働き方を断行する上司（＝イクボス）の必要性が高まっています。イクボスが多い組織では、職員の満足度・健康度・愛社精神・仕事能力・貢献度などが向上し、加えて多様性のある集団となるので新しいモノや考え方が組織内に生み出されます。今回の講演では、「イクボスの心掛け」について、講師が経営者や上司として実践してきた次のようなことを、具体的事例を挙げながら説明します。

- ①部下のやる気を高めるには
- ②上司が持つべき覚悟とは
- ③職場の時間泥棒とは
- ④一体感のあるチームにするには、など

## イクボスとは？

職場で共に働く部下・スタッフの仕事と生活の両立を考え、  
部下のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、  
自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）。

## あなたのイクボス度をチェック!

8個以上チェックがあればあなたはイクボスです!

- 部下全員の家族構成を知っている
- 育児や介護のある部下の状況を把握している
- 育児や介護の休暇といった職場の制度を把握し、取得を呼びかけている
- 話下手な部下に、自分から話題を提供できる
- 部下が急にひとり抜けても対応できるよう方法を準備している
- 既存の方法を見直し、働き方に関するテクノロジーを活用している
- 労働時間の短縮をめざした生産性向上に取り組んでいる
- どんな環境でも結果を出せる自信がある
- 自分の健康に気を付けている
- 自分のプライベートを大切にしながら人生を楽しんでいる



2021年度 学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター 構成員

|        |         |                                |
|--------|---------|--------------------------------|
| センター長  | 土佐 眞美子  | 日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科 特任教授 |
| 副センター長 | 柿 沼 美 紀 | 日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 教授        |
| 運営委員   | 大石 由美子  | 日本医科大学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) 大学院教授 |
| //     | 大 橋 隆 治 | 日本医科大学 統御機構診断病理学 大学院教授         |
| //     | 眞野 あすか  | 日本医科大学 生理学(生体統御学) 講師           |
| //     | 若林 あや子  | 日本医科大学 微生物学免疫学 講師              |
| //     | 武藤 三千代  | 日本医科大学 スポーツ科学 准教授              |
| //     | 横 堀 将 司 | 日本医科大学付属病院 救命救急科 大学院教授         |
| //     | 船 坂 陽 子 | 日本医科大学付属病院 皮膚科 教授              |
| //     | 保 利 陽 子 | 日本医科大学付属病院 麻酔科・ペインクリニック 講師     |
| //     | 石 渡 明 子 | 日本医科大学付属病院 脳神経内科 非常勤講師         |
| //     | 塚 田 弥 生 | 日本医科大学付属病院 循環器内科 病院教授          |
| //     | 荻 田 あづさ | 日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科 講師            |
| //     | 谷 内 七三子 | 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器内科 講師(教育担当)    |
| //     | 田 嶋 華 子 | 日本医科大学武蔵小杉病院 小児科 助教・医員         |
| //     | 堀 純 子   | 日本医科大学付属病院 眼科 教授               |
| //     | 関 口 敦 子 | 日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科 病院教授     |
| //     | 神 田 奈緒子 | 日本医科大学千葉北総病院 皮膚科 教授            |
| //     | 伊 藤 公 亮 | 日本医科大学千葉北総病院 麻酔科 助教・医員         |
| //     | 植 木 美 希 | 日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 動物科学科 教授    |
| //     | 小 竹 佐知子 | 日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 教授    |
| //     | 山 本 昌 美 | 日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医保健看護学科 准教授    |
| //     | 倉 岡 睦 季 | 日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 動物科学科 助教    |

学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター

*Diversity promotion Center - For Your Good Life and Good career-* ✨

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 日本医科大学図書館1階

☎ 03-3822-2131 (代)

✉ [app-shien@nms.ac.jp](mailto:app-shien@nms.ac.jp)